

静岡・海洋実証フィールドプラットフォーム

静岡
海洋実証フィールド



海洋ロボットの開発拠点化構想 現状と今後の展開

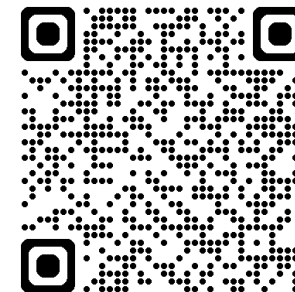
- ・ 海洋ロボット（ROV,AUV,ASV等）実証フィールド構想を推進
- ・ 海洋作業ROVの開発とサービス事業開拓の取組み

静岡商工会議所 新産業開発振興機構

静岡市BX推進課

静岡県マリンオープンイノベーション機構（MaOI機構）

連絡先：drone@nio-s.net



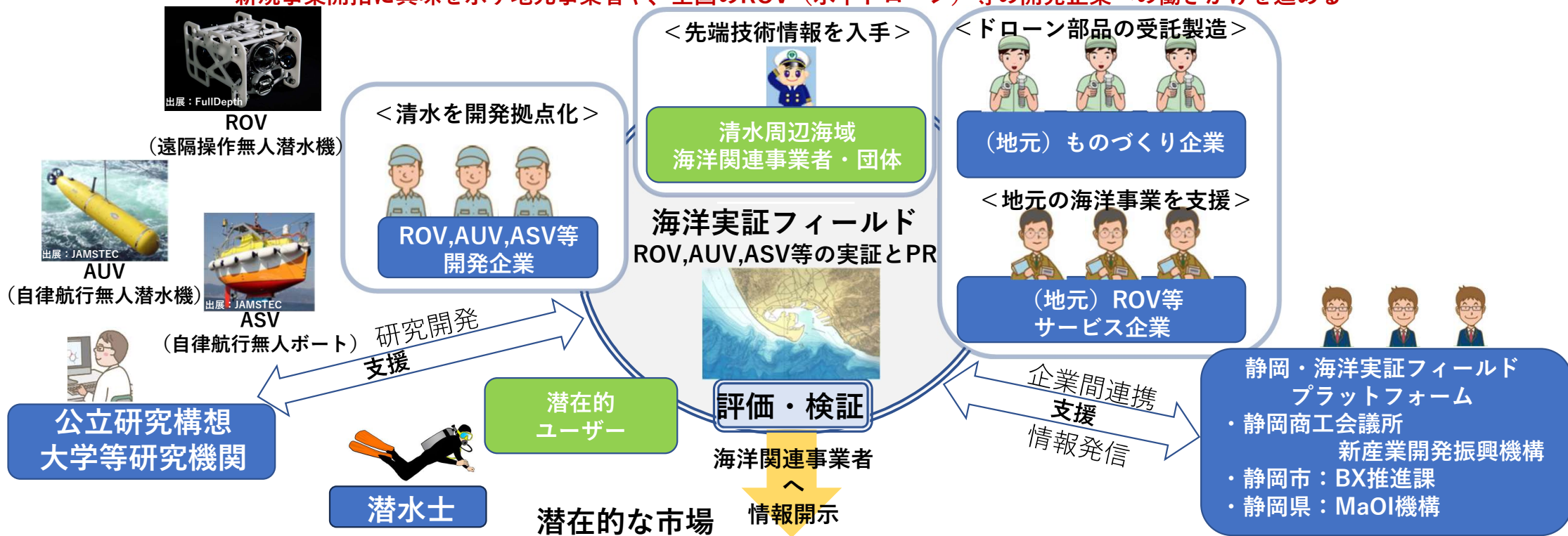
清水港全景



出展：静岡県清水港管理局

海洋ロボット（ROV,AUV,ASV等）実証フィールド構想を推進

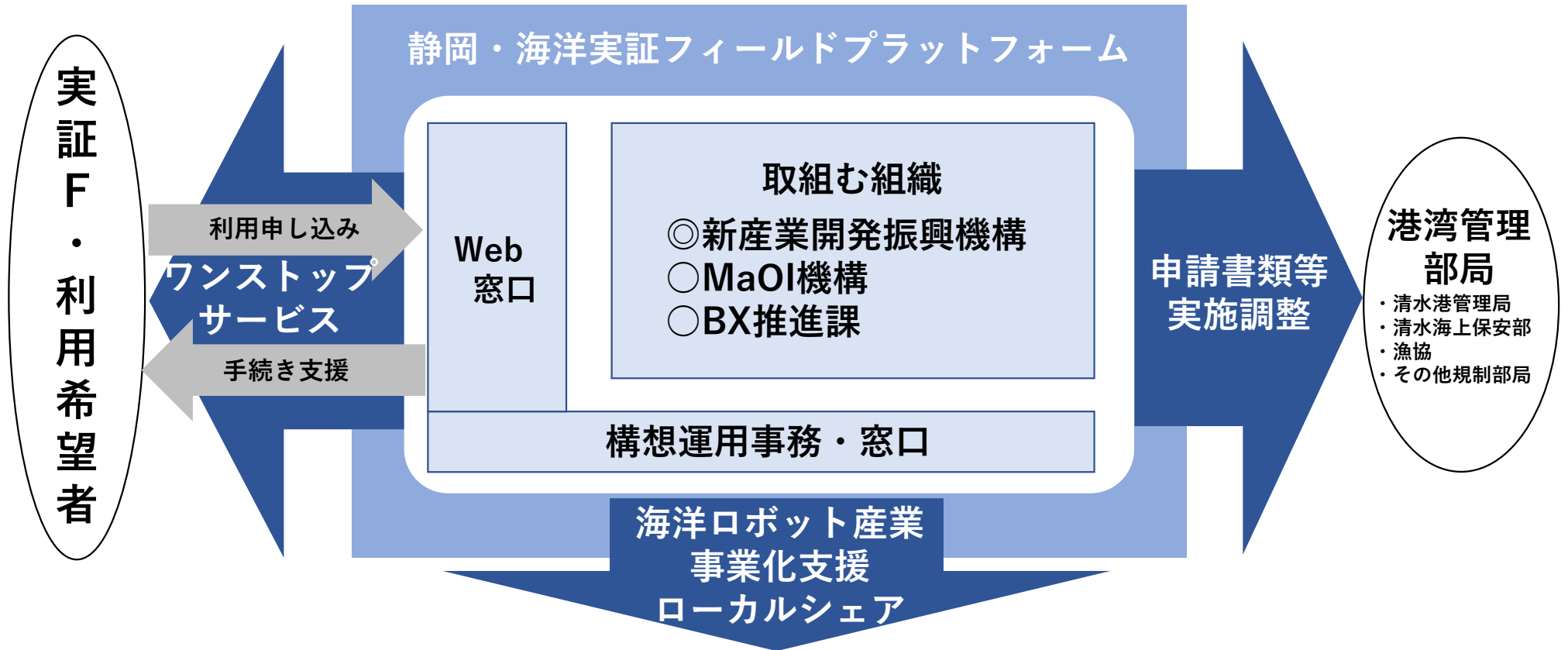
新規事業開拓に興味を示す地元事業者や、全国のROV（水中ドローン）等の開発企業への働きかけを進める



海洋調査 資源・環境・施設・地形・地質	漁業 資源・施設 網引き 養殖	港湾・海上施設 港湾管理 洋上風力発電	船舶運航・造船 船底点検、海生生物除去	海の観光・レジャー

「静岡・海洋実証フィールドプラットフォーム」の取組み

実証フィールド利用希望者の利用計画の実施に必要な手続き等をワンストップで支援する。



■ ROV等のサービスの新規事業化を支援

⇒ドローン事業化プロジェクトで実績を作り、構想機能を実証する

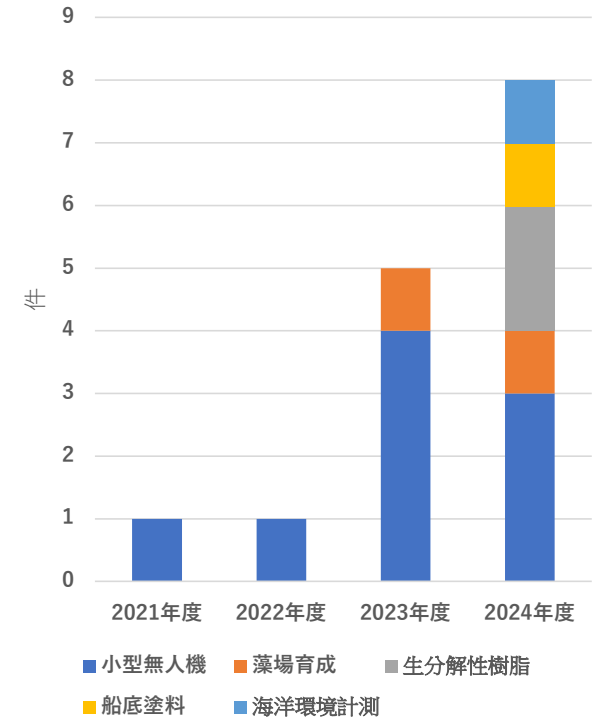
□ ROV等の部品・組み立ての新規事業化を支援

清水港の実証フィールド利用リスト（実績）

2021～2024年度に清水港内の海域が実証フィールドとして利用された実績


No.	利用者	技術分野	利用エリア
2021年度			
1	静岡商工会議所	小型無人機（ROV等）	袖師第一埠頭岸壁、江尻埠頭岸壁、富士見埠頭岸壁
2022年度			
1	A社	小型無人機（ROV等）	貝島沖海域
2023年度			
1	B社	小型無人機（ROV等）	清水マリンパーク前岸壁海域
2	C社	小型無人機（ROV等）	富士見埠頭岸壁
3	D社	小型無人機（ROV等）	新興津埠頭（ガントリークレーン）
4	E社	藻場育成	富士羽衣マリーナ北端岸壁海域
5	F社	小型無人機（ROV等）	袖師第一埠頭岸壁
2024年度			
1	J機構	生分解性樹脂	富士見埠頭岸壁
2	K社	生分解性樹脂	富士見埠頭岸壁
3	L社	船底塗料	富士見埠頭岸壁
4	A社	生環境観測	三井物産（株）メガソーラー沖海域、折戸湾波徐提口沖海域
5	N社	小型無人機（ROV等）	折戸湾波徐提潮彩公園前海域
6	O社	小型無人機（ROV等）	折戸湾貯木場西防波堤海域（内側）
7	P社	小型無人機（ROV等）	江尻埠頭岸壁
8	S社	藻場育成	折戸湾貯木場西防波堤海域（両側）


実証フィールド利用実績（件）

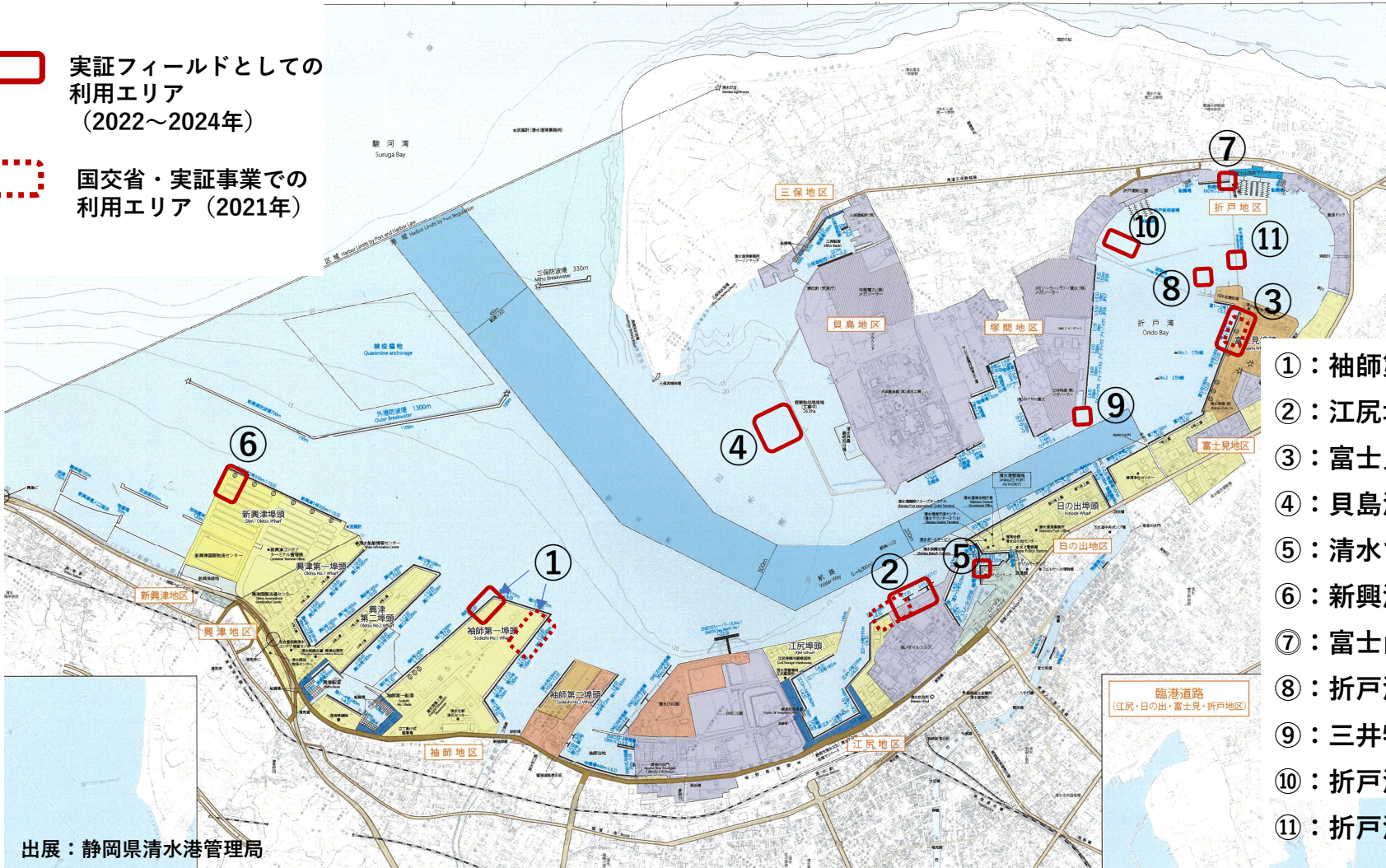


清水港の実証フィールド利用エリア（実績）

2021～2024年度に清水港内の海域が実証フィールドとして利用された実績

 実証フィールドとしての
利用エリア
(2022～2024年)

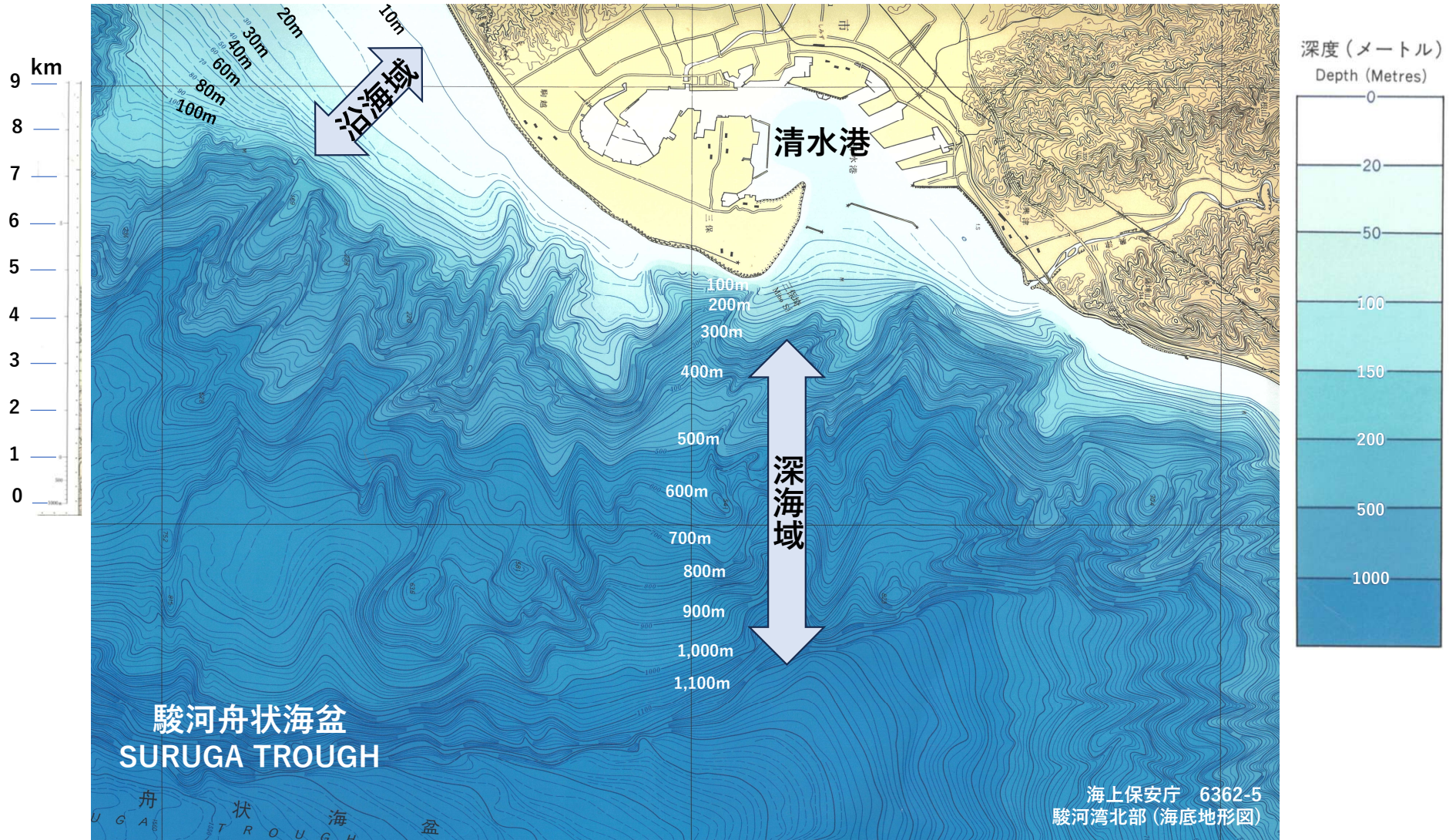
 国交省・実証事業での
利用エリア (2021年)



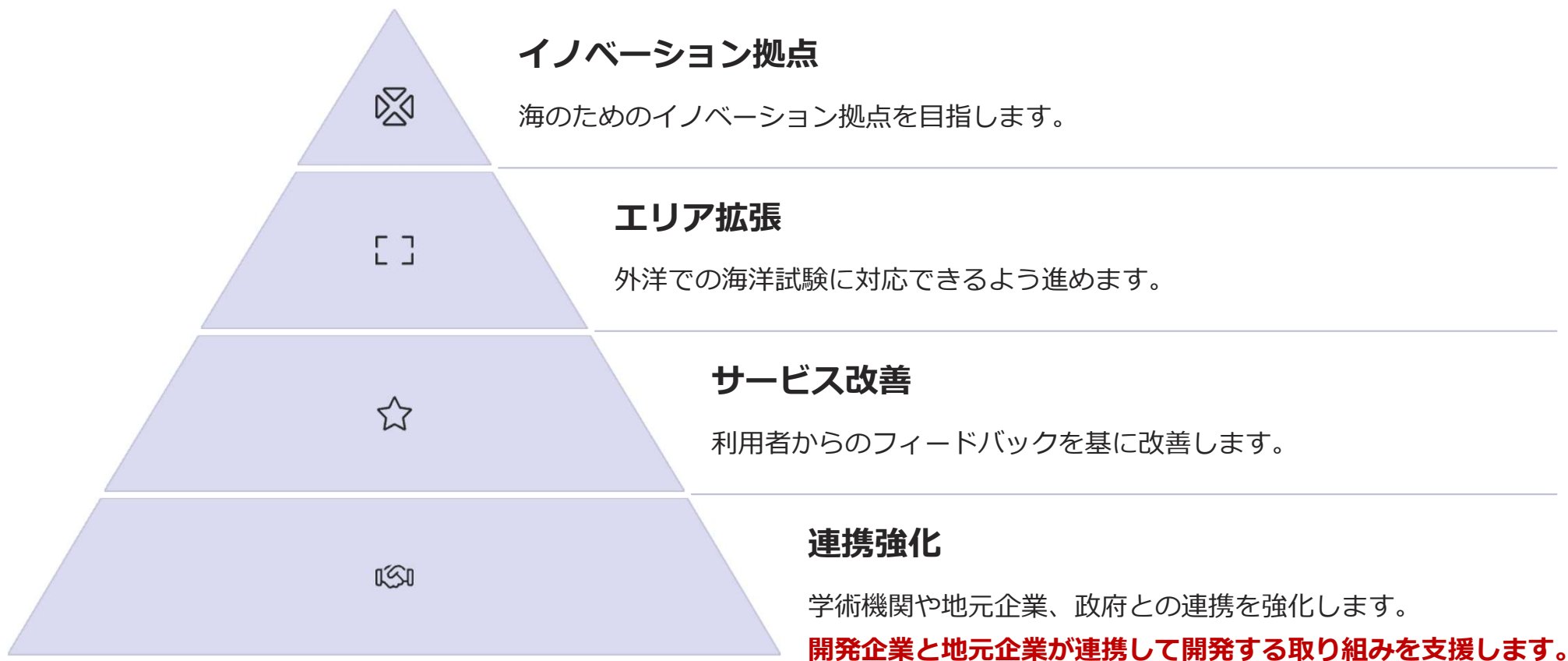
- ①：袖師第一埠頭岸壁
- ②：江尻埠頭岸壁
- ③：富士見埠頭岸壁
- ④：貝島沖海域
- ⑤：清水マリナーパーク前岸壁海域
- ⑥：新興津埠頭（ガントリークレーン）
- ⑦：富士山羽衣マリーナ北側岸壁海域
- ⑧：折戸湾波徐提口海域
- ⑨：三井物産（株）メガソーラー沖海域
- ⑩：折戸湾波徐提潮彩公園前海域
- ⑪：折戸湾貯木場西防波堤海域

港湾外の深い部分での実証フィールド域での実験 (今後の取組み)

清水港から沖合では、沿海域さらに深海域のアクセスが可能

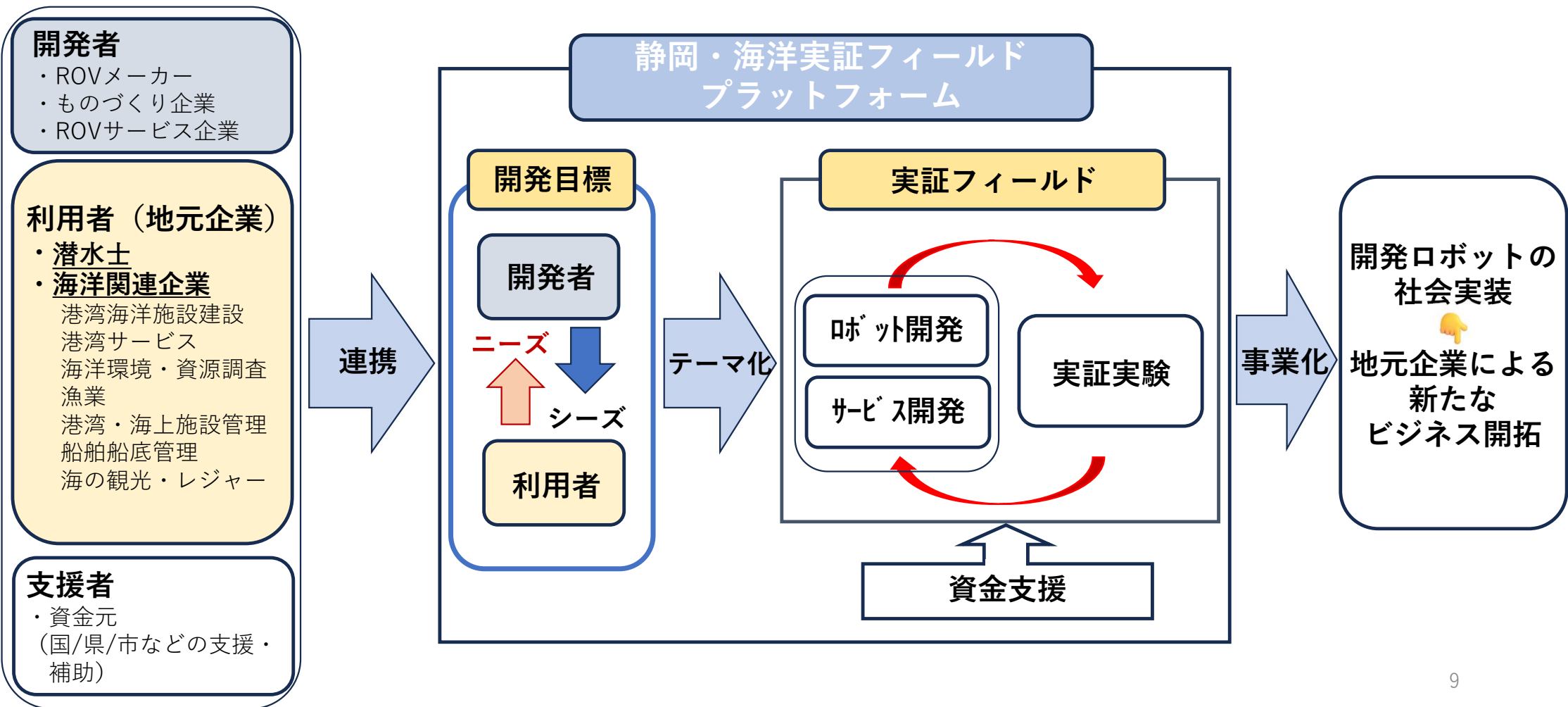


「静岡・海洋実証フィールドプラットフォーム」の取組み 今後の方向性



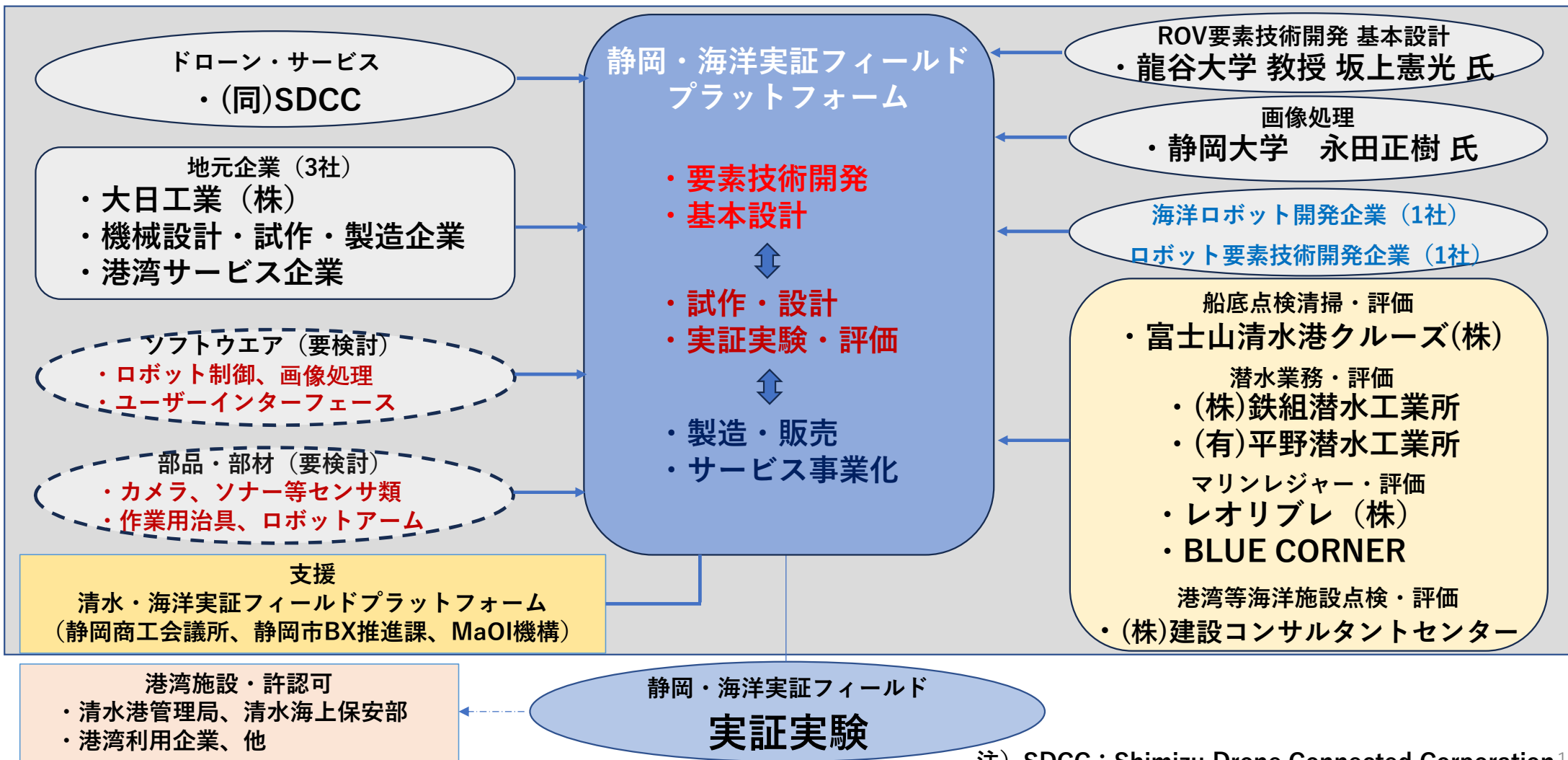
海洋ロボット開発における地元企業との連携の取組み

海洋ロボット分野におけるユーザー企業、開発企業、サービス企業および研究機関や支援機関との連携を図り、ニーズとシーズを擦り合わせて用途開拓・ロボット開発を進め、早期事業化につなげる。



海洋作業ROVの開発とサービス事業開拓の取組み体制

開発企業が、地元の海洋関連企業、大学・研究機関と連携して取組む。



注) SDCC : Shimizu Drone Connected Corporation 10